

令和 6 年 6 月 3 日
館山市情報提供
担当：秘書広報課
電話 0470-22-3122

台湾東部沖地震の被災に対する見舞金について

～ 6 月 5 日台北駐日経済文化代表処へ届けます～

4 月 3 日に発生した台湾東部海域を震源とする気象庁マグニチュード 7.7 の地震により、台湾が被災されたことを受けて、館山市では 4 月 5 日から 5 月 31 日までの間、館山商工会議所、館山市観光協会、館山インバウンド協議会と協力して、見舞金の受付を行いました。その結果がまとまりましたので発表します。

見舞金は、6 月 5 日に森市長、太田市議会議長、上條観光協会長が台北駐日経済文化代表処（日本における台湾外交の窓口機関）を訪問し、謝代表へ直接手渡す予定です。

記

見舞金総額 1,270,000 円

届け先等 日程：6 月 5 日（水）

届け先：台北駐日経済文化代表処（東京都港区）

面会相手 謝 長廷代表

メンバー：森正一館山市長、太田浩館山市議会議長、

上條長永館山市観光協会会長

見舞金受付 令和 6 年 4 月 5 日（金）から 令和 6 年 5 月 31 日（金）まで

募金箱設置場所 館山市役所受付、“渚の駅”たてやま受付、

コミュニティセンター、道の駅グリーンファーム館山

館山商工会議所、館山市観光協会、館山インバウンド協議会

館山わかしおトライアスロン大会会場

■森市長のコメント

台湾東部の地震発生直後から、お見舞金の募金を広く呼び掛けたところ、大変多くの募金をお寄せいただき、厚く御礼申し上げます。

地震発生から 2 か月が経ちましたが、被災地では未だ余震が続く中で復旧活動が行われていると伺っています。

令和元年の房総半島台風で館山市が被災した際には、台湾の方々から温かいご支援を頂いています。

今回のお見舞金が現地の復旧復興へ少しでもお役にたてばと思います。

被災地の 1 日も早い復旧・復興をお祈りいたします。

■館山市と台湾の交流について

近年、館山市では、台湾からの大学生インターンの受入れや、市内小学校と台湾の学校との学校同士の交流、行政団体や経済団体による視察の受入れなど様々な分野での交流が深まっています。

昨年11月には、森市長、石井教育長、館山市議会の太田議長、館山インバウンド協議会の小金会長、館山市観光協会の上條会長、館山商工会議所の安田会頭ら一行が台湾でトップセールスを行うなど、経済交流を継続しています。

その他、昨年5月に「金門県トライアスロン」との友好交流の覚書や、「高雄マラソン」との友好交流をきっかけに今年1月の若潮マラソン大会にも台湾からエントリーがあるなど、スポーツ面での交流も発展しています。

■館山市と台湾の相互支援について

館山市はこれまで、平成28年2月に台湾南部を震源とする地震が発生した際に日本赤十字社を通して救援金を送った他、平成30年2月に台湾東部を震源とする地震が発生した際に独自に見舞金を受け付けてきました。

一方で、令和元年房総半島台風で館山市が被災した際には、台湾サイクリストによる復興応援ツアーが開催された他、台湾農業施設団から「館山ふるさと市民」の謝美微さんを通じて支援金を頂くなどの実績があります。

■館山市への台湾からのインバウンド実績と効果（観光みなと課調べ）

H30～R5（※R3：コロナ禍のため実績なし）

受入人数（日帰り+宿泊） 1,324人

経済効果推計 約48,400,000円